

令和4年度十文字中学高等学校サッカー部後援会総会議事録

日時 令和4年4月23日（土） 13時～

場所 十文字中学高等学校新館多目的ホール

1. 開会のことば（杉山）

2年ぶりの対面での総会が実施できることをうれしく思います。短い時間ではありませんが、よろしくをお願いします。

定数確認

後援会 会員数 322 世帯中、参加者 89 名、委任状 113 通

後援会会則大 10 条の規定のとおり会員総数の 3 分の 1 以上の出席となり、本総会は成立することをご報告いたします。

2. 松久会長のあいさつ

令和3年度、後援会会長をさせていただいた松久です。

会長をさせていただいたといいますが、私が高校グループ代表、後援会会長だった2年間は、正にコロナ禍で後援会の活動にも様々な制約がありました。そのような中、理事長先生をはじめ学園の皆様には変わらぬご支援とご声援をいただき、本当にありがとうございます。また今後ともよろしくお願ひいたします。

さて、昨年のオンライン総会の挨拶の中で、繋がりについてお話をさせていただきました。コロナ禍で後援会の活動には様々な制約があり、各学年に割り振っていたことも後援会全体を巻き込んでいかななくてはたち行かなくなりました。十文字中学校、十文字高校、そしてサッカー部にお子さんたちが入ったからこそその繋がりがここには沢山あると思います。学年の横の繋がり、OG、現役を越えた縦の繋がりを大切にいただき、さらなる後援会の発展にご協力いただければと思っております。よろしくお願ひいたします。

3. 校長挨拶

横尾校長よりサッカー部の昨年度の活躍についてご紹介いただき、今年度も学園として精いっぱい応援していくとお言葉をいただきました。

石山先生のご挨拶の前に、数年前に行き過ぎた指導により、活動を控えていたところ、昨年からはスタッフのマネジメントということで復帰したこと、今年は昨年よりも活動の幅を広げるという趣旨のお話がありました。

4. 石山先生のあいさつ

令和4年度十文字高等学校サッカー部をご指導いただいている石山先生より、総会の始めにご挨拶をいただき、さらに総会の中でも参加されている後援会のみなさまに向けて、女子スポーツ選手のセカンドキャリアについてのお話をいただきました。

ご挨拶の中では、何より今、3年ぶりに十文字高校サッカー部に戻り、一緒に活動できることに喜びを感じておられること、横尾校長先生、後援会のみなさまに感謝していることを語られていました。

「セカンドキャリア」のお話は、女子スポーツ選手の引退後のメンタル面やキャリア面でも、ネガティブな現状、アメリカの大学でのスポーツ事情や女子選手のキャリアなどについて、写真やでデータを活用しながら、お話いただきました。

十文字高校のサッカー部の選手たちには、サッカーを通して人として成長して欲しい。そして、保護者の方には、そんな彼女たちを肯定し、応援してほしい。勝敗に関係なく、そこには何か意味があるはず。サッカーをやめてからの人生の方が長い、それゆえにセカンドキャリアが大切であることなど、石山先生からは、家庭で娘を支えている親である私たちも励みになる言葉をたくさんいただきました。

また、石山先生よりお話をいただく機会をつくっていただけたら幸いです。

(ここで、出席してくださった高塚高校教頭先生、浅見中学教頭先生が退出されました)

5. 新入部員紹介

中入生 12名

【25 海老澤あいり】【13 大谷優芽】【37 垣野心芽】【27 鈴木璃子】【38 竹城 空】

【4 竹本明維】【9 永井美咲】【31 細川真緒】【29 松本怜】【28 本橋未貴】

【33 山本 理央】【3 冷水優奈】

高入生 6名

【27 新井 萌禾】【31 梅本 恵】【55 小島 世里】【73 澤田 さくら】【80 松井 里緒】

【81 森 遥菜】

6. 【議長選出：議長として6年田邊さん選出】

7. 議題（詳細は事前配布資料を参照）

(1)令和3年度活動報告

(2)令和3年度会計報告（会計監査）

(3)役員を選出

(4)令和4年度活動計画

(5)令和4年度予算計画

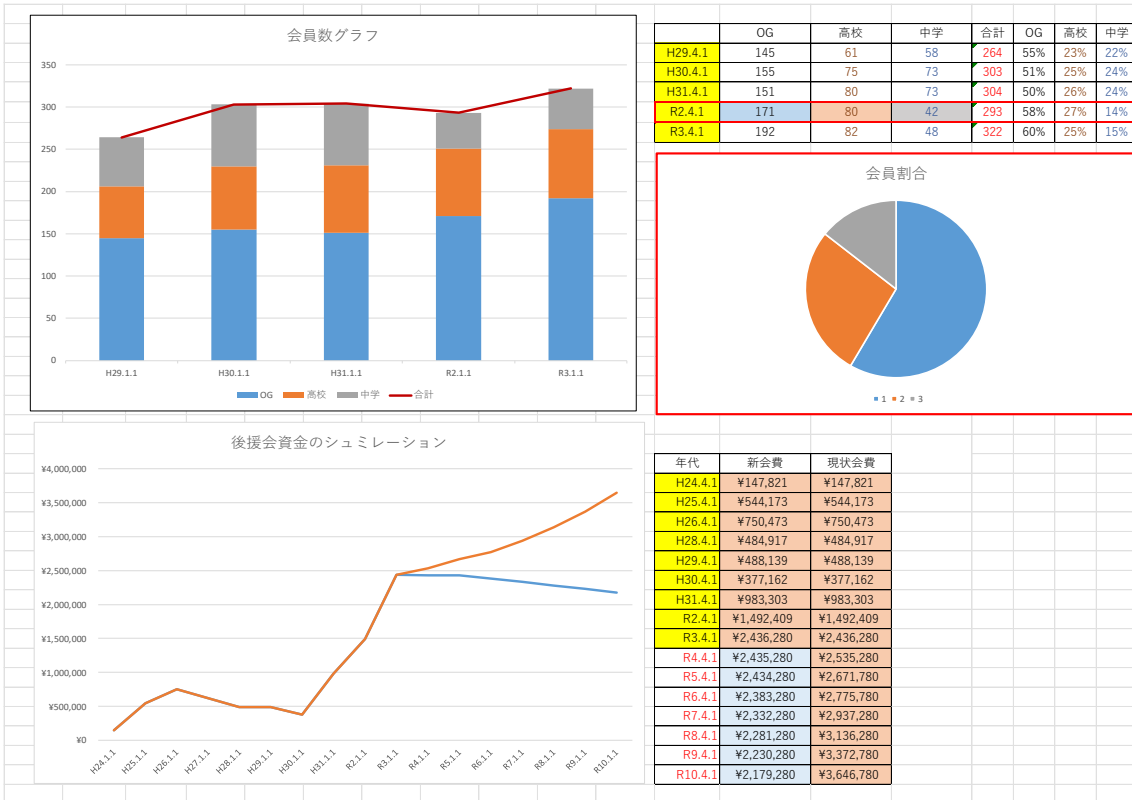
(6)その他

会則変更について

松久会長より会則改定に関する提案。

徳本副会長より後援会会費について、別紙会費シュミレーションの説明。

会則の改定	
第3条 (会員)	
改正前	改正後
本会の会員は、十文字サッカー部を心から愛し激励する有志で構成し次により組織する。	本会の会員は、十文字サッカー部を心から愛し激励する有志で構成し、正会員と賛助会員により組織する。
(1) 十文字サッカー部の部員と父母（保護者を含む）から成る中学グループ、高校グループ、OGグループ。 (2) その他本会の目的に賛同し、総会で認められた者。	(1) 十文字サッカー部の現役部員とその保護者（現役会員）から成る中学グループと高校グループ、及び卒業生とその保護者から成るOGグループで構成される。 (2) 現役会員は高校卒業後永久会員としてOGグループに所属し、正会員又は賛助会員を選択するものとする。なお、後援会への登録者は卒業生もしくは保護者のいずれかを選択できる。 (3) 正会員を選択した永久会員は、総会の議決権を有する。 (4) 賛助会員を選択した永久会員は、総会の議決権を有さない。 (5) 正会員・賛助会員及びその家族は、後援会サイトのアクセス権を有する。 (6) その他本会の目的に賛同し、総会で認められた者。
第10条 (会議)	
改正前	改正後
(1) 総会の成立は、委任状を含めて会員の 1/3 以上の出席を必要とする。	(1) 総会の成立は、委任状を含めて正会員の 1/3 以上の出席を必要とする。
第12条 (会費)	
改正前	改正後
本会の運営は、次の会費等をもって運営する。 (1) 入会金 2,000円（1世帯単位とする。） (2) 年会費 3,000円（1世帯単位とする。） (3) 寄付金 (4) その他	本会の運営は、次の会費等をもって運営する。 (1) 入会金 2,000円（1世帯単位とする。） (2) 年会費 4,000円（現役生1世帯単位とする。） (3) 寄付金 (4) その他 (5) 永久会員費 10,000円（高校卒業後、一括納入とする。） (6) 退会者がすでに納めた会費は払い戻さないものとする。 (7) 入会金・永久会費は申し出により、1世帯当たり1回限りの納付とする。



会則変更含め、満場一致の賛成にてすべての議題が承認されました。

8. 議長解任

田邊さんありがとうございました。

9. 今年度の役員紹介、退任役員の紹介

退任役員代表細田さんより挨拶

「コロナ禍で思うように活動できなかったけれども、今後もつながりを大事にして活動をしていってほしい旨」のご挨拶いただきました。

10. 徳本新会長挨拶

R4 総会 OG 代表兼会長挨拶

今年度 OG の代表・会長を務めさせていただく「徳本」でございます。

一年間よろしく願いいたします。

まず、新入生保護者の皆様 ご入学、ご入部、おめでとうございます。

本日は後援会、定期総会ということで、初めての方には少々硬い雰囲気を感じられるかもしれませんが、肩の力を抜いてお付き合いください。

この2年間、コロナ禍の影響により、去年はオンラインによる定期総会となり、今回のように「顔を合わせながらの」総会ではありませんでした。

本日は、理事長先生をはじめ、法人役員皆様、顧問の先生の皆様のご理解・協力を得まして、皆様と顔を合わせながら総会を開催することができました。誠にありがとうございました。会を代表して御礼申し上げます。

このサッカー部後援会は、「応援が好きな保護者さんが集まり、勝手に作った組織」が始まりと聞いております。後援会は後援会、学校とは別の組織と認識ください。会則にもございます通り、

「十文字サッカー部の発展を支援すること及び会員相互の親睦を目的とした保護者を中心とした組織」です。あえて申し上げますが、グラウンドで責任をもって指導されている監督、コーチ陣、顧問の先生方がおられますので、チーム戦術や選手起用、その他指導に関するご意見はお控え頂きたいと思っております。

また、サッカー部は、ほかの部に比べ学校からの補助が大きいと聞いております。

たくさんの学校教職員の方々のご理解により支援して頂いております。ご認識をお願いします。

次に、十文字中学高等学校サッカー部は、言うまでもなく部活動です。部活動とは「学校教育の一環である郊外活動」です。クラブチームとは異なります。「選手、子供たちは部活動中」という認識をお持ちになっていただき、急を要する事以外の無用な声掛け等はお控えいただきます様、保護者の皆様には今一度、ご認識をお願いします。

サッカー部には、子供たちで作り上げてきた代々引き継がれてきたルールがあります。ルールを変えるのは、子供たちの判断です。保護者が意見することなく、子供達のことを尊重していただければとおもいます。

昨年の成績については、中学は「フットサル全国大会優勝」、高校は「インターハイ全国大会出場」し、初戦で惜しくも敗退。選手権は、全国大会出場には至りませんでした。今年は更なる躍進を期待します。

さて、この2年間、保護者も全く試合観戦ができない、選手も全員で会場に行けない、応援もできない、応援歌も歌えない状況でした。「試合も観戦出来ない、皆で応援できない、わいわい騒げない、懇親会もできない」そんな2年間が過ぎ、私含め卒業生の保護者の皆さんは、心残りのあるまま卒業しました。

今年は、アフターコロナとの付き合いが続く、まだまだ先が見えない状況ではありますが、試合会場で直接試合を観戦し、みんなで応援すること、点が入ったらみんなで喜ぶ日が1日も早く来る事を切に祈ります。

この状況下です。懇親会、保護者会等の開催が出来るかは不明ですが、もしそのような会があったときは、同学年や先輩保護者さんと親交を深めていただき、サッカーのみならず学校生活や進路の相談をしたりなど、情報交換の場としていただければと思います。

3月に、上の娘が卒業しました。この代は、中学15名 高校12名 計27名、誰一人として途中で辞めることなく巣立っていきました。

卒業式の後、子供達・保護者有志で、ささやかな会を行いました。2年間、ほとんど話す機会がなかったお子さんもいました。久々に会い、「え？誰」と思うような、成長した彼女たちがいました。一人一人から、これからの進路等、今後の目標を発表してもらいました。

様々な目標を持ち、正直驚くようなこれからの進路、自分の将来像を持っていました。大変驚きました。

その中でも、つらかった事は「ケガで苦しんだこと」「みんながライバルだったこと」「勉強が大変だったこと」沢山あった。ただ、「この仲間がいたから何とか最後までやってこれた。」「みんなとめぐり合えて良かった。」と涙ながら話をして、全員が涙しながら聞いていました。

「何年か先、また集まろう！」「いい仲間、友達にめぐり合えて、本当に良かった」と思いました。

この学校でサッカーができて、この学校に関わることができて、本当に良かったと思えました。ご指導いただきました監督、コーチ、先生の皆様、誠にありがとうございました。

これからの「彼女たちの成長活躍が楽しみ！」です。

【今しかできない事を大切にしてほしい】と思います。

振り返れば、あっという間の3・6年間です。

自身のお子様や他のお子さん達と深く関わるのもこれが最後かと思えます。

今しかできない事を大切にしてほしいと思います。

【ありがたい】

この2年間、子供たちの試合を見たり、現地会場で皆さんと一緒に応援したり、

「今まで普通にできたことが出来ない。当たり前でできたことでできない。」

聞いた話ですが、当たりの反対は「ありがたい」だそうです。

「ありがたい」と感じる日が一日も早くくること切に祈ります。

本日、定期総会という事で皆様にお集まりいただきましたが、一番大切なことは、「顔合わせ」並びに、これからの輪をつくっていただく始まりの日と私は考えています。

例年ですとこの後、懇親会となりますが、残念ながらコロナ禍の影響にて自粛となります。

この後、お時間あれば是非とも、学年毎にて輪になって自己紹介など、時間の許す限り行っていただければと思います。

最後に、2年間、制約がある中でしたが、今年は新たなスタートとして、皆様と一緒に、私も楽しみながら頑張っていきたいと思えます。

一年間ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、よろしく願いいたします。

OGグループを代表いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

本日はご多忙の中お集まりいただきまして、誠にありがとうございました。

以上

1 1. スタッフ紹介

代表として武岡先生のあいさつがあり、大学グラウンドよりオンラインで大滝先生、早見コーチよりごあいさついただきました。校庭でのトレーニングを抜けて、野間田コーチ、小橋コーチからご挨拶いただきました。

高校のスタッフは、石山先生、武井先生、稲田先生からご挨拶いただきました。

そのほか、理事長先生より、今、会長がおっしゃったように、十文字での出会いを大事にして頑張してほしい、高校のスタッフの関係では心配をかけたけれども、落ち着いた運営を期待している、学園としてもサッカー部を応援していきますとご挨拶いただきました。副理事長、岡本副本部長、荒川事務長からも、応援しているので頑張してほしいとお言葉をいただきました。

1 2. イネス先生、武井先生のお話

両先生より、今期のスタッフ紹介、サッカー部についての説明がありました。

以下、パワーポイント参照

以上